

緑のまきば

1977 № 14

小金井緑町教会
小金井市緑町四一六〇三三
電話〇四二三八一七九六一
編集 牧師 山本圭一

祈りの人となれ

大胆にして執拗な祈りは、教会と、世界を変革させる！

「真の宗教とはどのような宗教であろうか。神学的意味において真理を最も多くもつ宗教ではない。また最も深く思索された宗教でもなく、思索に最も適した宗教でもない。真の宗教とは祈りを本質とし、祈りによって魂が神を確信するようになる宗教である。」(フョーサイス「祈りの精神」より)

それ故、キリスト者にとって最も悪の罪は祈らないことである。われわれキリスト者にとって、誰の目にも明らかな混乱や言動の不一致をもたらずものは、実に意外なことであるが、祈らない結果であり、祈らないための罪である。

さらに「祈らない罪」はその背後にひそんでいる「祈りを欲しない罪」を呼び覚まし、祈りの不能という恐るべき結果を生む。この

ような教会には力はない。またわれわれは、祈らない人々の力を恐れる必要は全くない。祈りは神の賜物であると同時に求むべきものである。恩寵であると同時に義務である。祈りによって教会は刷新される。教会の再生は祈りに待つほかはない。

富士見町教会「路の光」一九七七年二月号より、島村牧師の祈禱十ヶ条を引用しよう。「祈りの人となれ」その切々たることばを味わい実行する者となろう。

▽受洗者数は？ 富士見町教会での昨年クリスマスまでの一年間の受洗者数は、男4、女11、計15名であった。朝拝平均出席一五〇名として、一カ年間、十名でたった一人を、洗礼に導いている計算になる。これで、富士見町教会は伝道している教会といえるか？

断じて、そうではない。▽祈禱会に出席せよ(われらの教会では木曜会である)伝道不振の原因は、救の確信のない故だ。祈の体験の弱い故だ。

その他の原因もあろうが、祈りの力のないのが、最大の原因だ。昨年、君は一度でも教会の祈禱会に出席したことが、あるのか？ 本年は、是非、祈禱会に出席して、祈っている君の姿が見たい！

▽祈禱会についての十力条
(1)主が、誰よりも先に来て、君を待って居られることを信じて祈禱会に着席すること。
マタイ一八ノ二〇

(2)主が、われらの祈るのを、聞いて、これにこたえるために、待つて居られるのが祈禱会である
ヨハネ十四章十三ノ十四、ヘブル七章二五

(3)主の御名によって祈ることを、要求して居られる祈禱会である
ヨハネ十六章二三ノ二四

(4)主が、われらの祈る以前に、すでに執成をしていて下さることを、確認して祈ることが大切だ
ルカ二二章三二、ヘブル四章一五ノ一六、ヨハネ十七章二〇

なく、これを実行するために、一同の祈りを合せるための祈禱会である。エペソ六章一八ノ一九、ヨハネ第一の手紙四章一四

(6)主の御心に感化せられて、自我が打ちくだかれ、新しい人となるべき祈禱会である。ルカ二二章四二、使徒九章十一と十八章四二、使徒九章十一と十八章四二、使徒九章十一と十八章四二、使徒九章十一と十八章四二

(7)主との密室の交りをして、主の前に、心を一つにして献げる祈禱会であるべきだ。マタイ六章六ノ八、マタイ一章一九

(8)主にある地上の教会員と、天上の教会員とが、共に祈る祈禱会である。「御名をあがめさせたまえ」とは、天にても地にても祈るべき祈りだ。ピリピ二章九

(9)主を信ずる兄弟姉妹の、相互に祈り合うべき祈禱会である。使徒十二章五、エペソ六章一八

(10)主の教会の活動の源動力は、教会の祈禱会である。使徒二章四二、使徒六章四、互いに励みあって「祈りの人となるう」それにつけても、教会員全員が祈りの人とならねば、その実現はできない。奮起して、祈りの人とならうではないか。